

長岡中央総合病院 倫理委員会 オプトアウト書式

① 研究課題名	抗 EGFR 抗体の効果をひきだすために皮膚毒性管理が重要である
② 対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	2016年4月から2022年10月までに当院で1次治療抗EGFR抗体併用治療を行った症例 研究責任者；小林由夏
③ 概要	2016年4月から2022年10月までに当院で1次治療抗EGFR抗体併用治療を行った症例について使用状況、治療効果、治療成功期間、生存期間について調査し、皮膚障害と長期生存について検討した。
④申請番号	(倫理委員会申請時の受付番号。未採番の場合は空欄。)
④ 研究の目的・意義	抗 EGFR 抗体で報告されている長期生存がどのような症例で認められているかを確認し、今後の臨床上の管理に役立てる。
⑤ 研究期間	2016年4月～2022年10月
⑦情報の利用目的及び利用方法(他の機関へ提供される場合はその方法を含む。)	匿名化した臨床情報を利用し、生存を解析する
⑧利用または提供する情報の項目	年齢、性別、治療期間、有害事象、生存期間、2次導入の有無
⑨利用の範囲	この学会に限る
⑩試料・情報の管理について責任を有する者・連絡先	小林由夏 (5034)
⑪お問い合わせ先(照会先及び研究への利用を拒否する場合の連絡先)	長岡中央総合病院・腫瘍内科